

学 校 沿 革 史

明治	5年	8月	学制により、鯖江町中小路、東小路、南小路、下小路、上深江、下深江、清水および上鯖江村、西鯖江村、長泉寺村、五郎丸村、定次村を学校組合として、小学校を設置する。
		11月	進徳小学校を中小路第34番地進徳館舎に創立する。
		12月	上鯖江村、学校組合より分離し、和同小学校を創立する。後、舟津小学校と改名する。
明治	6年	10月	校舎狭隘のため、敦賀県鯖江支庁舎を仮用し、済世小学校と称し、これを本校とし、進徳小学校を支校とする。つづいて済世を惜陰と改名する。 また女兒校を東小路135番地に設け謙順小学校と称する。 (現在の旭町3丁目4番附近)
			謙順女兒小学校を惜陰小学校に合併する。
明治	9年	10月	支校を本校に合併する。
明治	10年	10月	新築校舎が落成し開校式を挙行する。
明治	11年	10月	明治天皇北陸ご巡幸の際、御小休みされる。供奉の岩倉具視右大臣は授業を参観され、奨学金を下賜される。
明治	12年	2月	高等科一級より四級生までの男女生徒を分けて教授する。
明治	15年	4月	高等全科卒業証書授与式を挙行する。(これ以後毎年)
明治	19年	4月	初めて本校生徒運動会を吉江枇杷山で催す
明治	19年	12月	小学校令により、高等、尋常、簡易の三科を置き、旧組合のほか、新村、横越村、上鯖江村、五郎丸村、定次村の5ヶ村を加え、今立郡第20番小学校区とし、その位置を従来の惜陰小学校所在地と定める。
明治	20年	9月	高等生に英語科を課す。
		10月	高等上級生26名を引率して敦賀郡大比田浦まで一泊で修学旅行を実施する。
		12月	理化学器械を購入し新たに理化教室を設ける。
明治	21年	9月	高等科に兵式体操を加設する。
		10月	南條郡今立郡両郡の高等科生体操科会に出席し、24名が優等賞を得る。
		10月	児童の服制を改良し、筒袖にする。
明治	22年	1月	唱歌の一科を加える
		4月	臨時生徒競技会を実施する。
		7月	風琴(オルガン)を購入し、唱歌教室を設ける。
		10月	実地授業批評会則を定め施行す。
		11月	尋常科第三四学年級に図画の一科を加える。
		12月	父兄教育談話会を開設する。
明治	23年	4月	尋常科の図画を廃止する。
		4月	毎週土曜日に、各自の教場を級級擔任訓導及生徒で大掃除をさせる。
明治	25年	4月	3日 第一回卒業証書授与式(これまでは高等科のみ?これ以後第二回、三回の記述)
		4月	英語科を廃止する。
明治	27年	6月	修身、地理、歴史科の生徒用教科書を生徒各自に持たせる。
		11月	本部衛生会より医師が出張し、高等科生の視力検査をする。
明治	28年	4月	生徒の教壇座次を身長順に改訂する。
明治	29年	2月	15日から1週間本校内にて単級教授法講習会を開設する。 講師 岡本 師範学校教諭
		4月	本学年より尋常三学年以上に図画科を加える。 高等第三学年以上は鉛筆画を廃し毛筆画を教える。
		7月	高等科男生徒には着袴すること、女生徒には前垂れを廃止することとする。
		10月	高等科に級長を置いて教師に敬礼の合図をさせることとした。
		11月	各自生徒に教室の掃除をさせる。
		4月	英語科を加設する(高等科第2学年以上に課す)。 尋常第3学年女生徒に裁縫科を加える。
明治	31年	5月	敦賀まで遠足運動を実施。汽車旅行といえる。高等科290名及び旧卒業生7名
			高等科各学年級に級長及び副級長を置く。
		6月	高等科生に所定の徽章を付けた帽子をかぶらせる。

		10月	10日より5日間本校生徒の体格検査を実施する。概して体格善良
明治	32年	5月	加州大聖寺に一泊で遠足運動を実施する。（高等科200名余）
		9月	惜陰校同窓会を設立し、第一回総会を開く。
明治	33年	2月	兄弟姉談話会を開く
明治	33年	4月	校地を南小路第112番地（現在の位置に定め、新築工事に着手する。
		5月	校舎新築を記念して松を植え、済美の碑を建立する。 〔済美〕祖先の事業を受けついで成果をあげること、美をなしとげること。 高等科生徒運動会挙行。坂井郡三国町まで旅行 一泊の上翌日帰校
明治	34年	7月	新校舎が落成する。（教室数 17）
		11月	18日より毎週月曜日第一限の始めに、講堂訓誨をする。 （児童訓練の統一を計る目的）
明治	35年	3月	生徒話し方の発達をはかる目的で、毎土曜日終業後話し方練習会を開く。
		4月	年長児童特別教育部を設け、従前の不就学者を教育する。 教案編成の様式を統一する。
		5月	尋常科生 新横江村下新庄へ 高等科生一同 石川県金沢市へ遠足運動会を挙行する。
		12月	来学年用教授細目編纂の様式を定める。
明治	36年	5月	2日間 坂井郡地方へ本校高等科児童の遠足運動会を挙行する。
		11月	色鉛筆は有毒の恐れがあるので、これよりその使用を禁止する。
明治	37年	4月	高等3,4学年男生に商業農業の二科を加え、3,4学年中の商業志望者を一組として商業科を課し、他の農業志望者は4学年一組、3学年一組として農業科を課す。
		9月	尋常科各学年を通し男女別に学級を分ける。
		12月	5日より13日まで児童身体検査を実施する。（それまでは体格検査）
明治	38年	7月	校旗を制定する。 保護者懇話会を実施する。
明治	39年	4月	下新庄剣神社へ本校尋常科児童春季運動会を行う。
		5月	敦賀町へ本校高等科児童春季運動会を行う。
		10月	糺野練兵場迄 尋常科及び高等科児童秋季運動会を行う。
明治	40年	1月	1日新年拝賀式を挙行する。（以後毎年）
		4月	尋常及び高等 新入学児童の入学式を挙行する。
明治	41年	1月	6日 始業式を挙行する。
		7月	第7回移築記念式 児童の学芸会を催す。
明治	42年	4月	鯖江裁縫学校を本校内に併設する。 2日 始業式を挙行する。
		5月	高等児童並に尋常五六学年児童ほかに裁縫学校生徒講習生等を滋賀県彦根へ引率。
		7月	第8回記念式 各学年児童が各種の運動遊戯を行う。併せて児童成績物を展示する。 （次年度以降も） 第一学期児童保護者会を実施する。
		9月	惜陰図書館を校内に併設する。
明治	43年	12月	27日 年末終業式を挙行する。
明治	45年	5月	4年以上児童 招魂祭に参拝後、他の小学校児童とともに連合し、各種競技遊戯を行う。
		11月	5年以上児童 河和田小学校内において第三部教育品展覧会（郡教育会主催）に参加する。
大正	2年	5月	臨時休業し職員一同加賀大聖寺小学校参観のため出張する。
		12月	児童通知簿は今回より直接保護者に渡す。
大正	3年	10月	本郡施行の学力調査として、尋4算術、尋6読方学力調査を実施する。
大正	5年	4月	東鯖江地積1600坪を借入し屋外運動場を拡張する。
大正	7年	11月	校舎、屋内運動場、附属建物の改築総工事が完成する。
大正	14年	3月	鯖江町、舟津村、新横江村（東鯖江）学校組合を廃し、鯖江町、舟津村学校組合を設立する。 校名を惜陰尋常高等小学校とする。
昭和	3年	7月	鯖江女子師範学校代用附属小学校となる。（～24年10月）
昭和	9年	10月	校舎（東校舎）を増築落成する。
昭和	10年	2月	惜陰小学校校歌を制定する。（作詞 出雲路善尊 作曲 下総皖一）

			体育大会の緑組、赤組、白組、黒組応援歌が作られる。
昭和	13年	3月	『教育道』第一巻第二号発行（女子師範附属小 一部十五銭 一カ年一円）
昭和	16年	4月	惜陰国民学校、福井県鯖江女子師範学校附属国民学校と改名する。
昭和	18年	4月	福井師範学校女子部代用附属国民学校となる。
			身体虚弱児童のための養護学級を開設する。（～53年）
昭和	21年	10月	真実の教育を求めて、第1回新教育研究発表会を開催する。
昭和	22年	2月	近畿新教育実験学校に指定される。
		5月	新制小学校、中学校に改制され、校名を惜陰小学校、惜陰中学校とし、中学校は当分惜陰小学校に併設される。
		7月	惜陰小学校父母と先生の会を結成する。
		10月	近畿実験学校として第2回新教育研究発表会を開催し、惜陰プランを発表する。（以後、7次にわたり改訂）
昭和	23年	4月	惜陰中学校が小学校と分離し、西鯖江に移転する。
		12月	東海北陸実験学校に指定される。（～27年3月）
昭和	25年	11月	校舎南側の外運動場を拡張する。（約 1000坪）
昭和	27年	4月	鯖江中学校、鯖江高等学校とともに、小、中、高一貫カリキュラムの研究に着手する。
		5月	鉄筋3階建新築校舎1棟完成する。（第1期工事、北校舎）普通教室15、特別教室2。
			文部省モデルスクール候補校に指定される。
		11月	新教育の開拓推進に努力した功績によって、県教育委員会より感謝状を受ける。
昭和	28年	4月	知的障がい児童のために県内で初めて特殊学級を開設する。
昭和	29年	3月	鉄筋3階建新築校舎が1棟（第2・3期工事南校舎）完成する。（普通教室12、特別教室3、同準備室3）
昭和	30年	4月	鉄筋講堂兼体育館が完成する。
		11月	多年の教育課程の総合研究により県教育委員会より感謝状を受ける。
昭和	31年	7月	モルタル2階建校舎が完成する。（普通教室5、特別教室1）
		11月	日本一健康優良学校として表彰される。
昭和	32年	9月	全日本健康優良学校研究大会を開催し、教育実践を公開する。
昭和	33年	8月	給食室が完成する。
昭和	30年代		高学年児童の臨海教育を和田海岸で2泊3日で実施する。米1升（野菜）を持参
昭和	36年	8月	鉄筋2階建本館1棟と児童玄関が落成する。
		11月	10ヶ年におよぶ全館建築を完了し、落成式を挙げる。
			校門南側に噴水塔を建設する。
昭和	37年	9月	県特殊教育研究推進校に指定される。
		11月	創立90周年記念式典を挙げる。創立記念の備品拡充にあたる。
昭和	38年	6月	この年より修学旅行を、京都又は奈良大阪方面に一泊旅行とする。（これまでは1日）
昭和	40年	8月	学童プール・幼児プールが完成する。（本体10m×25m）
		11月	惜陰っ子音頭（作詞 田中 幸 作曲 伊藤富美 振り付け 体育研究部員）
昭和	41年	4月	文部省特殊教育課程実験校に指定される。
昭和	44年	6月	統計教育推進校に指定される。
		9月	校庭拡張整備工事が完了する。
昭和	45年	4月	言語障がい学級を設立
			福井県南越地区（三市三郡）特殊教育推進センターが本校に設置される。
昭和	46年	3月	北館、南館の木製サッシをアルミサッシに取り替える。
		11月	鉄筋3階建校舎1棟（西校舎）が落成する。普通教室15
昭和	47年	11月	福井新聞社教育部門文化賞を受賞する。
			創立100周年記念式典を挙げる。
昭和	48年	3月	創立100周年記念事業教育研究室「進徳館」が落成する。
昭和	49年	2月	学校無人化 宿直、日直勤務をやめて、その勤務の時間は無人化とした
		4月	全教室にカラーテレビが設置される。
		7月	ブラスバンド部を創設する。

昭和	52年		県総合教育研究校に指定される。
			本館南館の間に西洋式庭園「済美園」、体育館東側に「流れのある教材園」を造成する。
			校門横の松 冬季における管理のため、雪吊りを市教委に依頼、本年から実現する。
昭和	54年		父母と先生の会が文部大臣賞を受賞する。
昭和	55年	3月	福井県教育委員会より教育研究奨励賞を受ける。
昭和	56年	1月	豪雪のため5日間臨時休業となる。
		4月	文部省・県道徳教育協同推進校（3ヶ年）に指定される。
昭和	60年	6月	惜陰小学校分割期成同盟会が設立される。
昭和	63年	4月	惜陰小学校が「惜陰」「進徳」小学校に分割される。
平成	1年	4月	改築工事が始まる。
平成	2年	3月	講堂兼体育館が完成する。
			アルミ缶回収で全国表彰を受ける。
平成	2年	4月	たてわりグループ活動を開始する。
平成	3年	10月	全校舎が完成し、落成式を行う。
平成	4年	6月	屋外環境整備工事が完了する。全面改築落成式を挙げる。
		9月	プール改築が完成する。
		11月	創立120周年記念式典を挙げる。
平成	7年		同窓会誌を発行する。（2,500部）
平成	8年	4月	校庭改修工事が完了する。
			情緒障がい学級を開設する。
平成	9年	11月	創立125周年記念式典を挙げるし、記念誌を発行する。
平成	10年	4月	日本学校保健会より、歯・口の健康づくり研究推進校に指定される。（3ヶ年）
平成	11年	4月	文部省より歯・口の健康づくり研究推進校に指定される。（2ヶ年）
		9月	コンピュータ室が設置される。（パソコン20台）
平成	12年		5,6年生スキー教室実施（27年度まで）
平成	13年	5月	ジャングルジムが設置される。
		7月	県教委より「歯・口の健康作り」研究実践に対し健康優良校として表彰される。
		10月	バックネットを新設する。（校庭南側）
平成	14年	4月	完全学校週5日制となる。（H4から月1回、H7から月2回実施）
			国立教育政策研究所教育課程研究校に指定される。
			布製の名札をプラスチック製のものに変える
		11月	学校保健に関する文部科学大臣賞を受賞する。
			創立130周年記念式典を挙げる。
平成	15年		文部科学省「学習指導カウンセラー派遣に係る調査研究事業」（2ヶ年）に指定される。
		12月	校庭南東入口にカーテングートを設置する。
平成	16年	2月	ソニー子ども科学教育プログラム努力校として表彰される。
		10月	幼保連携推進事業の実施に向けて鯖江幼稚園と王山保育所の合築工事が開始される。
平成	17年	1月	チャボ小屋改修
		9月	校庭の砂場・低鉄棒を移設新築する。
平成	18年	6月	緊急連絡メール運用を開始する。
平成	19年	1月	惜陰小学校見守り隊を結成する。
		4月	福井型コミュニティスクールとして「地域・学校協議会」を設置する。（H30より「家庭・地域・学校協議会」）
			鯖江幼稚園の小学校校舎使用のため南校舎1階西側2教室を貸与する。
平成	20年		文部科学省「全国学力・学習状況調査等を活用した学校改善の推進に係る実践研究」に指定される。
		8月	全職員用にパソコンが配置される。（19台）
平成	21年		新型インフルエンザ流行
平成	23年	4月	コア・ティーチャー養成事業指定を受ける。（2ヶ年）

			児童用パソコンが整備される。(40台)
平成	24年	11月	創立140周年記念モニュメントを作成する。
平成	25年	4月	子どもの読書活動優秀実践校として文部科学大臣賞を受賞する。
平成	26年		普通教室にエアコンが設置される
平成	29年	2月	豪雪のため5日間臨時休業となる。
平成	30年	10月	惜陰小学校見守り隊が県知事表彰を受ける。
平成	31年	3月	せきいんこども園が開園する。
			こども園改築に伴い、南校舎1階西側の2教室を低学年用に改修する。
令和	1年	8月	校門横ブロック塀を撤去してフェンスを設置する。
令和	2年	3月	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため3ヶ月間臨時休業(～5月末)、分散登校を経て6月より授業を再開する。夏季休業を2週間に短縮する。
			感染予防のための「新しい学校生活様式」のもと、教育活動が制限される。教育研究会、マラソン大会、惜陰ふれあい祭り等を中止、その他の修学旅行先を県内に変更して実施する。市の連合行事も中止となる。(～R3)
令和	3年	1月	GIGAスクール構想により児童と教員に1人1台のタブレットPCが導入される。(学習活動、遠隔授業等で活用)
		10月	惜陰小学校見守り隊が、文部科学大臣表彰を受ける。
令和	4年	11月	創立150周年記念式典を挙げる。
令和	8年	7月	熱中症対策用の冷凍・冷蔵庫設置。校門通路舗装。